

「オートタキシン」判定基準（カットオフ値）

	①線維化進展例（mg/L） [※]	②肝硬変（mg/L）
M	0.910	1.69
F	1.27	2.12

※C型肝炎治療ガイドライン（第5.4版）の「肝線維化F2以上」に相当します。

①より高い検体は、肝線維化進展例と判定します。

②より高い検体は、肝硬変と判定します。

【判定上の留意事項】

- ・ 妊婦では週数が進むに従いATX濃度が高値となることが確認されているため、妊婦検体の測定には適しません。
- ・ 悪性リンパ腫患者、進行した悪性腫瘍患者では、ATX濃度が高値となることが確認されています。また、重度の心不全患者でも高値を示す場合があります。
- ・ 副腎皮質ステロイドを服用している人ではATX濃度が低値を示す場合があります。
- ・ 肝炎ウイルスを原因としない慢性肝疾患においては、肝線維化ステージとATX濃度の関係がウイルス性肝疾患と異なる場合があります。